

知的財産

支援活動だより

特集

関東支部神奈川委員会の 活動について



トピックス

- ・ 12月までの支援活動
(東北支部・東海支部・近畿支部・九州支部)

目次

特 集

関東支部神奈川委員会の活動について

関東支部神奈川委員会委員長

穂坂道子

4

1. 12月までの支援活動

東北支部

・あおり産学官金連携Day 2018

東北支部 鈴木壮兵衛・上野大輔・角田世治

7

・第7回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア2018

東北支部 松枝浩一郎

8

東海支部

・「知的財産出前授業」沼津工業高等専門学校

東海支部教育機関支援機構副機構長

菊谷純

9

・週末パテントセミナー2018in 静岡（第3回）

東海支部静岡県委員会副委員長

石垣春樹

10

・「知的財産特別授業」静岡県立沼津商業高等学校

東海支部静岡県委員会副委員長

島野美伊智

11

・休日パテントセミナー2018in 名古屋（第3回）

東海支部知的財産権制度推進委員会委員

横井俊之・間瀬武志

12

近畿支部

・「知的財産特別授業」京都市立八瀬小学校

近畿支部知財授業担当

伊原節子

13

・「知的財産特別授業」やたなか小中一貫校矢田小学校

近畿支部知財授業担当

寺園佳江

14

・「知的財産特別授業」大阪府立能勢高等学校

近畿支部知財授業担当

小林義周

15

・パテントセミナー2018・知財広め隊2018 滋賀午後の部

近畿支部知財普及・支援委員会

岸本忠昭・古田昌稔

16

・栃木県立真岡高等学校の訪問学習

近畿支部知財授業担当

水田慎一

18

・「知的財産特別授業」屋久島おおぞら高等学校 KTC おおぞら高等学院

近畿支部知財授業担当

五郎丸正巳

19

・「知的財産特別授業」舞鶴市立余内小学校	近畿支部知財授業担当	渥美元幸	20
・パテントセミナー2018 大阪応用編（第1回）	近畿支部知財普及・支援委員会	八木まゆ	21
・平成30年度知的財産権に関するセミナー in MOBIO-Cafe（第3回）	近畿支部知財普及・支援委員会	上西敏文	22
・パテントセミナー2018 大阪基礎編（第2回）	近畿支部知財普及・支援委員会	後利彦	23
・パテントセミナー2018 大阪基礎編（第3回）	近畿支部知財普及・支援委員会	五郎丸正巳	24
・パテントセミナー2018 奈良	近畿支部知財普及・支援委員会	中山聡	25
・パテントセミナー2018 京都 午前の部	近畿支部知財普及・支援委員会	立川伸子	26
・平成30年度知的財産権に関するセミナー in MOBIO-Cafe（第4回）	近畿支部知財普及・支援委員会	村上太郎	27
・パテントセミナー2018 大阪外国編（第3回）	近畿支部知財普及・支援委員会	大塚雅晴	28

九州支部

・「知的財産特別授業」宮崎県立宮崎南高等学校	九州支部	田代茂夫	29
------------------------	------	------	----

2. 支援活動一覧表（1月から）

相 談	30
講 演	33
その他	34

3. 支援活動一覧表（12月分）

相 談	35
講 演	37
その他	39

本日よりWebでも閲覧できます。

日本弁理士会ホームページ（<http://www.jpaa.or.jp/>）

関東支部神奈川委員会委員長 穂坂道子

1. はじめに

神奈川委員会の基本的任務は、神奈川県内の地方公共団体や県下の企業、団体等から日本弁理士会関東支部宛に寄せられる様々な要請に応え、日本弁理士会の神奈川県の窓口としての役割を担うことです。

53名の委員で構成され、月に一度の定例会議とメールによる委員間のやり取りによって、各活動を遂行しています。



委員会風景

2. 地方自治体との協定

地域に根差した知的財産権の啓発を図るべく、地方自治体との知的財産にまつわる協定の締結を推進しています。これまでに川崎市（2007年）及び横浜市（2009年）と、いずれも「知的財産の活用による産業振興と地域の活性化のための協力に関する協定」及びこの協定に基づく「覚書」を締結しました。

そして、今年度（2018年）の8月には、神奈川県と、同様の協定及び覚書を締結することができました。この協定に基づき、神奈川県の7つの試験研究機関（温泉地学研究所、環境科学センター、自然環境保全センター、農業技術センター、畜産技術センター、衛生研究所、水産技術センター）のアドバイザーを担当させていただくことになりました。県の担当職員の方とご一緒に、地域の活性化と産業の振興を図るべく、活発な活動が始まっています。

3. 相談員・審査員の派遣

地方自治体等が行う外国出願支援事業の審査員や、公益財団法人横浜企業経営支援財団（IDEC）等における知財相談窓口の相談員派遣の要請を受け、委員会からメンバーを派遣しています。

4. 神奈川県立川崎図書館との共同事業

神奈川県立川崎図書館の移転リニューアルに伴い「知財スポット」が創設されたことをきっかけに、知財の啓蒙活動のための様々な取組を始めました。

- （１）月に２回、定期的に知財相談員を派遣しています。今後、いっそうの周知を図り、利用が増えるようにしていきます。
- （２）２ヶ月に１度のペースで、「企業関係者と弁理士の知財研究会」と題する研究会を開催しています。参加者は、知財にまつわる数ページの論文等を予め読み、意見交換しています。
- （３）図書館でのセミナーを開催します。今年度は「なぜ特許出願をするのか」というテーマに決まりました。

今年度の取り組みは上記の通りですが、今後もさらに改良を重ね、息を長く続けて参ります。

5. 技術系の展示会への参加

横浜市等主催の「テクニカルショウヨコハマ」、川崎市等主催の「川崎国際環境技術展」、独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所等主催の「ものづくり技術交流会」等、技術系の展示会で、セミナーを行ったり、ブースを設けて、無料相談コーナーを設けたりしています。ブースに来てくださる方々と直に接することは、我々にとって貴重な体験であり、視野を広めるために大いに役立っています。

２０１８年２月の「テクニカルショウヨコハマ」のセミナーでは、共同主催の横浜市のＩＯＴ関連の事業に合わせてＩＯＴ関連の特許をテーマにしました。東北大学の木下忠先生に「ＩＯＴ関連技術の特許 その取得と活用を考える」と題する基調講演をお願いし、引き続いて委員会のメンバーによるパネルディスカッションを行いました。



テクニカルショウヨコハマ セミナーの様子

6. 知的財産セミナーの実施

県内の2か所で、知的財産セミナーを実施しています。2014年は横浜市と小田原市、2015年は横浜市と三浦市、2016年は川崎市と藤沢市、2017年は相模原市と鎌倉市、2018年の今年度は、横須賀市と海老名市で行いました。

横須賀市のセミナーは、『「観光」と「食」の街よこすかを活性化しよう』というタイトルのもと、「スカジャン」や「海軍カレー」「横須賀野菜」にまつわる特許権や商標権を題材に4名の講師が交代でそれぞれに個性的な講義を行いました。海老名市のセミナーは、「いいね！を集めて信用の商標をつくろう」というタイトルのもと、同市の発展の歴史に基づく知的財産権の特徴と、実際のデータに基づく同市の企業の知的財産権の取得状況を、2名の講師が分担して、わかり易く説明しました。

いずれのセミナーも、地元の弁理士にしかできない地域の要請に根差したセミナーでした。それぞれの地に愛着のある弁理士が企画・運営・実行したことが良い方向に影響したと考えます。

7. 継続研修

弁理士対象の研修会を企画し、実施しています。2018年9月には元知的財産高等裁判所所長の清水節氏による「知財訴訟の実情」と題する研修会、同年11月には引地麻由子弁護士による「台湾の知財制度の概況」と題する研修会を行いました。

各研修を1名の委員が担当し、講師の選定、日程や研修内容についての講師との調整、会員への案内文の作成、研修当日の司会、といったことをすべて行いました。いずれの研修も好評でしたので、苦勞のかがあったと思います。

今後も、会員のニーズに合わせて、役に立つ研修を企画してまいります。

8. 神奈川委員会メンバーの事例研究会

最後の紹介になりますが、委員会メンバーによる事例研究会の実施が、他県委員会には見られない、神奈川委員会独自の活動だと思います。

当委員会の各メンバーの人脈や、地元で得られた情報を駆使して、ジャンルを問わない自由な事例研究会を企画しています。今年度の研究内容は次の通りです。6月、7月、8月は、いずれも委員会メンバーによるレクチャー、12月は農場での収穫体験と農場主による講義でした。

6月：特許侵害訴訟における弁護士費用について

7月：地理的表示及び地域団体商標について

8月：人工知能（AI）と知財

（AI・ビッグデータ時代の弁理士の役割）

12月：「小田原みかん」についての講義と収穫体験



12月事例研究会：「小田原みかん」



農場主による講義

1

12月までの支援活動

東北支部

あおり産学官金連携Day2018

1. 日 時：平成30年10月23日（火） 12:00 - 17:00
2. 場 所：アートホテル弘前シティ プレミアホール
3. 支 援 員：東北支部 鈴木壮兵衛・上野大輔・角田世治



当支部のブース



マッチングツアー参加者への説明

4. 内 容：

「あおり産学官金連携Day」は、青森県の産学官金の連携を推進し、新産業・新事業の創出と青森県内ものづくり産業の発展を図ることを目的に毎年開催されている催しです。今回は弘前市で開催され、県内外の企業等、大学や公設試験研究機関など51企業・団体によるブース出展のほか、知的財産に係る基調講演や技術シーズの紹介、首都圏企業と出展企業等との技術マッチング等が並行して行われました。なお、主催者である「イノベーション・ネットワークあおり」は、青森県知事を代表者とし、事務局を青森県新産業創造課とする、青森県内の横断的な産学官金のネットワークです。

東北支部は、東北経済産業局、青森県知的財産支援センターら関係機関と共に研究支援機関のコーナーに出展しました。今年のブース出展は、産学官金連携をより強く進めるため例年より研究支援機関コーナーが拡充され、参加者を事前に募り希望のブースを巡るマッチングツアーが行われました。2回行われたマッチングツアーでは、当支部のブースにのべ15名以上が訪れました。鈴木会員から、弁理士の紹介、知的財産権取得の重要性、当支部の様々な支援活動が説明され、ツアー参加者は熱心に聞き入っていました。

会場で寄せられた相談は、計4件でした。来場者からの相談だけではなく、他の出展企業との会話から発展した相談や、関係機関からの紹介による相談もありました。会場では様々な支援機関がブース出展し相談を受け付けており、その中で知的財産の専門家として当支部が出展し相談会を実施することは、各支援機関が連携して横断的な支援を相談者に提供することに繋がり、有意義であったと考えます。

会場は多数の来場者で賑わっていました。また、本年は、知的財産に関わる講演・マッチングイベントが同時に行われ、知的財産権の重要性を多くの来場者が肌で感じる事ができる中での出展となりました。今回の当支部の出展は、知的財産権制度の普及・啓発、弁理士の認知度向上、関係機関との連携強化に寄与するものであったと思われます。

東北支部 鈴木壮兵衛・上野大輔・角田世治

第7回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア2018

1. 日 時：平成30年11月7日（水）・8日（木） 10:00 - 17:00
2. 場 所：ビッグパレットふくしま
3. 相 談 員：東北支部 水野博文・伊藤正則・鈴木俊二・松枝浩一郎



知財無料相談会

4. 内 容：

本フェアは、再生可能エネルギー技術に関連する企業等が出展する展示会であり、毎年福島県郡山市で開催されています。再生可能エネルギーは、A：太陽光・太陽熱、B：水素・燃料電池・蓄電池、C：バイオマス、D：水力・地中熱・未利用熱、E：風力などの技術分野ごとに分類され、各技術分野ごとにエリアが割り当てられ、関心のある技術分野の展示を効率よく見学することができます。県内や東北地方の企業に限らず海外企業の出展や、大学、研究機関、支援機関、金融機関などさまざまな関連団体が参加しており、初日の朝から多くの来場者で賑わい、活発なビジネス活動が展開されているようでした。

東北支部が本フェアに出展するのは、本年が2年ぶり2回目で、前回と同じく「知財無料相談会」を実施しました。また、ブースでは弁理士の紹介や弁理士会の支援活動を紹介するパンフレットなどを配布し、ブース前を通りがかった来場者が手に取っていく姿も見受けられました。フェア開催期間中、4名の弁理士で相談対応を順に担当しましたが、相談件数は、2日間を通じて1件でした。今回は、福島県発明協会を含め各種相談を受け付ける他の支援機関が集まる出展エリアと離れたエリアでの出展となり、それが影響したかもしれません。

さまざまな事業者が集う展示会は、知的財産権への関心を喚起させ、弁理士の認知度を向上させる効率的な機会であり、今後も継続的に活動することが必要なのではないかと思われます。

東北支部 松枝浩一郎

東 海 支 部

「知的財産出前授業」沼津工業高等専門学校

1. 日 時：平成30年10月17日（水） 14：50－16：20
2. 場 所：沼津工業高等専門学校 体育館
3. 対 象 者：高専生（約200名）
4. 講 師：東海支部教育機関支援キャラバン隊
菊谷純・高田珠美・藤谷修・藤田早百合・加藤拓司・野崎洋平



紛争劇の様子

5. 内 容：

同校での知的財産出前授業（紛争劇）は、今回が3回目となります。同校では、パテントコンテストへの応募や知財検定の取得を奨励するなど、生徒の知財教育に力を入れ始めており、その一環として出前授業の依頼をいただきました。

授業の前には、先生から「知財教育に力を入れており、今後も、色々と発展させていきたい」という旨の説明を受けました。

授業では、まず、紛争劇で重要となる特許法の基本的な知識を、消しゴムの発明、切り餅の発明など、身近にあるものを題材にして説明しました。

続く紛争劇は、それぞれ異なるおにぎりパックの発明者高田パリ子と発明者藤田海苔子とが争う形式で、模擬侵害訴訟のような形式で行うものです。配役は、発明者の他に、それぞれの発明者の代理人としての弁理士と、レフェリーと、解説者がいます。

双方の主張に対してレフェリーが判断し、○の数が多い方を勝利とするものです。紛争劇では、特許の取得までの流れ、侵害判断、先使用权、特許無効、そして最後にクロスライセンスが話題にあがります。

紛争劇の途中では生徒に適宜質問をし、生徒を巻き込みながら紛争劇を進行しました。また、紛争劇には、特許に関する知識と絡めて、笑いをとるための話題がところどころに含まれており、時折笑い声も起こるなど、生徒は内容に引き込まれている様子でした。

授業の後には、何人かの生徒から質問があり、紛争劇を通じて生徒の知的財産権に対する興味がさらに大きくなったように感じました。

東海支部教育機関支援機構副機構長 菊谷純

週末パテントセミナー2018 in 静岡（第3回）

1. 日 時：平成30年10月19日（金） 18：30－20：30
2. 場 所：アクトシティ浜松＜Dゾーン＞研修交流センター52研修交流室
3. テー マ：最近の知的財産裁判例を学習して実務に役立てよう！
4. 対 象：一般、中小企業経営者、知財関係者など23名
5. 講 師：東海支部知的財産支援キャラバン隊 弁護士・弁理士 坂野史子



講義の様子

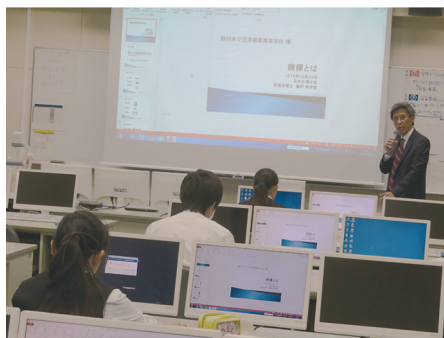
6. 内 容：

「最近の知的財産裁判例を学習して実務に役立てよう！」ということで、大量、長文の近時最高裁判所判例から数件をピックアップし、まとめて説明しました。また、参加者自身での学習の助けとなるよう、判決文を効率よくかつ的確に読み解くコツなど方法のアドバイスもありました。参加者にとって大変有意義なものとなったと思います。

東海支部静岡県委員会副委員長 石垣春樹

「知的財産特別授業」静岡県立沼津商業高等学校

1. 日 時：平成30年10月29日（月） 11:50 - 12:40
2. 会 場：静岡県立沼津商業高等学校
3. 対 象 者：第2学年14名
4. 講 師：東海支部知的財産支援キャラバン隊・静岡県委員会副委員長 島野美伊智



授業の様子

5. 内 容：

主催者側で設定した「商標とは」というタイトルで勉強会を行ないました。生徒は日頃からデザインを勉強していて、例えば、自治体、商工会議所等が主催する町興し事業のシンボルマークの公募に応募する等、意匠、商標、著作権等の知的財産に少なからず接点があるようでした。今回は、「商標とは」と題して商標中心の勉強会でしたが、意匠、著作権についても勉強会を開催すると大いに参考になるかと思いました。

東海支部静岡県委員会副委員長 島野美伊智

休日パテントセミナー2018 in名古屋（第3回）

1. 日 時：平成30年11月10日（土） 14:00 - 16:00
2. 場 所：名古屋商工会議所 3階第5会議室
3. テー マ：（前半）米国特許基礎 近年のPPH（特許審査ハイウェイ）の実情
（後半）欧州・中国の特許制度
4. 対 象 者：一般市民、中小企業者、知財担当者など48名
5. 講 師：東海支部知的財産権制度推進委員会 横井俊之・間瀬武志



講義の様子

6. 内 容：

前半：「米国特許 基礎 近年のPPH（特許審査ハイウェイ）の実情」について

前半のセミナーでは、米国特許制度について日本の特許制度と比較しながら説明しました。基礎ということで、資料を作ってみたものの、全部は説明しきれないことを伝え、できるところまで行なうとともに、最後に近年のPPH（特許審査ハイウェイ）の実情について説明したいと伝えました。

保護対象、基本的な特許要件、出願の種別のあたりまで説明しました。中間処理と審判の説明はできませんでした。担当時間の残り5分ほどとなったところで、PPHの実情について説明しました。

受講者は概ね熱心に聴講し、メモをとっており、前半と後半の講義の終了後、2名から質問を受けました。

1時間の講義では、基礎だけと限ってもすべてを説明するのは無理だと思いました。ただ、受講者もすべてを聞こうと思っていないと思いますから、やれるところまでの説明で十分だとも思います。その意味で、テキストをもう少し充実させておいた方が良かったかもしれません。

東海支部知的財産権制度推進委員会 横井俊之

後半：「欧州・中国の特許制度」について

後半のセミナーでは、欧州・中国の特許制度について、日本の特許制度と比較しながら説明しました。欧州については、主に、欧州特許条約（EPC）を利用した欧州出願について説明しました。また、中国については、特許制度に加え、出願件数が多い実用新案の制度についても、説明を行いました。

1時間ほどの講義でしたが、受講者は配布資料に講義内容をメモしながら熱心に聴講していました。また、講義後の質疑応答については、若干名ではありますが欧州や中国の特許制度の質問がありました。

1時間の講義で2カ国の特許制度の概要を説明する必要がありましたが、時間がタイトになるため、今後は1時間の講義で1カ国の特許制度の説明でも良いと感じました。

東海支部知的財産権制度推進委員会 間瀬武志

「知的財産特別授業」京都市立八瀬小学校

1. 日 時：平成30年10月2日（火） 10：45－11：30
2. 場 所：京都市立八瀬小学校
3. 対 象：5年生1クラス6名
4. 講 師：立川伸子・伊原節子会員



実際に発明品を体験する生徒達



授業風景

5. 内 容：

京都市立八瀬小学校は100年以上の歴史のある学校ですが、5年前に新校舎が開校したということで、校舎に入るとまだ新しい木の良い香りがしてきました。私達が訪れた10月2日は秋晴れの爽やかな日で授業をしたランチルームからは緑がとても眩しかったです。

今回の生徒は5年生の7人の予定でしたが、残念ながら1人欠席で6人の授業となりました。教頭先生が「子ども達はちょっと恥かしがり屋なので大丈夫か不安です。」と言われましたが、最初からとても積極的に参加していました。人数が少ない分、カタシャンボトルやプニョプニョピン※もそれぞれ手に取って使いやすさを体感していました。肩ブレラのとときには全員が出てきて「ああでもない、こうでもない」と試行錯誤していたのが大変微笑ましかったです。

「F博士と怪人のどちらの商品を買うか」という質問には6人全員が一斉に「高くてもF博士のを買う！」と答えたのにはビックリしました。（普通は「安い方がいい」と言う生徒もいるはずなんです…。）授業を参観していた先生が「安い方がいいのでは？」と敢えて反対の立場になりましたが、「人の発明を真似することは良くない！」と口々に反論していました。

クイズもとても盛り上がり、あっという間に45分が過ぎてしまいました。

少人数で学校全体が兄弟姉妹のような八瀬小学校。今回の授業で「発明」や「特許」の話が他の学年にも広まってくれたら嬉しいと思いました。

近畿支部知財授業担当 伊原節子

※「プニョプニョピン」はコクヨ(株)の登録商標です。

「知的財産特別授業」やたなか小中一貫校矢田小学校

1. 日 時：平成30年10月4日（木） 11:00 - 11:45
2. 場 所：やたなか小中一貫校矢田小学校
3. 対 象：6年生1クラス20名
4. 講 師：後利彦・寺蘭佳江会員



授業風景

5. 内 容：

今回訪問した「やたなか小中一貫校矢田小学校」では、キャリア教育の一環として、6年生1クラス20名の生徒が知財授業に参加しました。

知財授業の司会は後会員で、私は博士役を演じました。

生徒にとって、「弁理士」は馴染みがなかったようですが、授業が進むにつれて、発明やアイデアは身近なところにあり、発明を保護することの大切さを理解していました。

授業では、サラカップル、カタシャンボトル、肩ブレラにつながるアイデアを生徒が積極的に前に出て披露しました。

また、授業の後半にハサミや画鋏など、学校生活で身近なものが工夫されて使いやすくなった商品を体験してもらい、新たな気づきを得ていました。

さらに、クイズの時間では、先生だけが回答する設問を一つ用意し、先生の力量が試される機会となり、大いに盛り上がりました。

最後に、「カドケシ※」を用いて、特許だけではなく、意匠や商標といった知的財産権によっても商品が保護されていることを理解してもらいました。

知財授業を通じて、生徒が発明および弁理士という職業に関心を持ったことを実感することができ、嬉しく思いました。

近畿支部知財授業担当 寺蘭佳江

※「カドケシ」はコクヨ(株)の登録商標です。

「知的財産特別授業」大阪府立能勢高等学校

1. 日 時：平成30年10月4日（木） 13：10－14：50
2. 場 所：大阪府立能勢高等学校
3. 対 象：3年生2クラス56名
4. 講 師：五郎丸正巳・小林義周会員



興味津々の生徒達に授業を行う講師

5. コメント：

今回は大阪府立能勢高等学校を訪問しました。同校は、文部科学省から「スーパーグローバルハイスクール」に指定されており、国際舞台で活躍できる人材の育成に取り組み、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を進めている学校です。

授業では、「(1) 最近の知財訴訟の紹介」と「(2) おにぎりパック特許権物語」とで構成される90分のコンテンツを、午後の2コマを使って行いました。五郎丸会員が正講師、私が補助講師という役割分担でした。

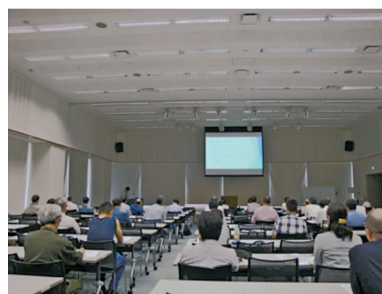
1つ目の「(1) 最近の知財訴訟の紹介」は、補助講師である私が主となって話をするパートでした。無駄話をする生徒は一人もおらず、とても話がしやすい雰囲気でした。しかし、私の話が台本の棒読みでつまらなかったせいか、それともお昼ごはんの直後だったせいか、眠くなって机にうつ伏せになる生徒が始めました。2つ目の「(2) おにぎりパック特許権物語」になると、正講師である五郎丸会員の上手い話術によって、生徒の興味は高まり、授業は盛り上がりを見せました。

今回使用した講師二人用90分のコンテンツは、内容が難しく時間も長いので、高校生が始終集中して聴講するのは大変だったと思います。それでも多くの生徒が最後まで話に耳を傾けてくれたのは、非常に有難かったです。次回は生徒を退屈させない話し方を心掛けようと反省した次第です。

授業の後は、前日に行われた文化祭の余りをみんなで食べる時間だったのですが、私たち講師も「たこせん」をご相伴に上がりました。久しぶりに食べた「たこせん」は懐かしい味でした。

近畿支部知財授業担当 小林義周

1. 日 時：平成30年10月6日（土） セミナー：14:00-16:30
交 流 会：16:45-18:00
2. 場 所：セミナー：コラボしが21
交 流 会：CAFÉコルネット
3. テー マ：すぐに役立つ！中小企業知財法務の全て
4. 講 師：樋口真也会員
5. 受 講 者：セミナー：54名
交 流 会：15名



セミナーの様子



交流会の様子

6. 内 容：
(セミナー)

2018パテントセミナー滋賀午後の部は、滋賀県発明協会で窓口相談を担当している弁護士・弁理士の樋口真也会員による「すぐに役立つ！中小企業知財法務の全て」をテーマとした講義でした。この講義全体は、窓口相談における中小企業からの相談案件を一般化した内容で構成され、身近な事例に沿った内容で、知財に詳しくない受講者にとっても判りやすく、知財実務においてすぐに経験しそうな内容でした。

契約関連の相談事例では、契約の重要性についてから始まり、共同開発前の守秘義務契約、共同開発後の守秘義務契約、共同開発（研究）契約、共同出願契約、ライセンス契約と、知財関係の代表的な契約における留意点についての解説がありました。各契約の解説においては、質問形式で相談事例を挙げ、その相談事例のポイントとなる事項（留意点）についての解説があり、初心者にとって理解しやすい解説の進め方でした。また、共同開発（研究）契約においては不実施補償条項、ライセンス契約においては特許有効の保証条項、独占禁止法との関連でのアサインバック条項などの解説があり、初級から中級へと一歩踏み込んだ解説も含まれてい

ました。また、ライセンス契約の相手側が破産した場合の説明もあり、弁護士の立場からのアドバイスの内容も盛り込まれていました。

最後に、著作権譲渡契約についての解説がありました。近年、キャラクターを利用した地域振興、商品開発などが行われており、このようなキャラクターの利用においては著作権譲渡が問題となりますが、このようなキャラクターの問題をイラストを例にした事例で、著作権譲渡契約のポイント、特に著作権と著作人格権との取扱いの違いなどについて判りやすく解説していました。

今回の滋賀午後の部は、中小企業知財法務という例年のテーマとは少し違う内容でしたが、中小企業の受講者に法務の重要性を理解したと思います。

（交流会）

交流会は、セミナー終了後、会場の1階にある喫茶室で開催されました。この交流会は、知財広め隊事業の一環として昨年度から行われているものであり、普段は弁理士と話す機会が少ない中小企業の方や一般の方と弁理士とが積極的に対話できる場を設けることを趣旨としています。参加者は、日頃持っている疑問や意見を弁理士に忌憚なく話したかと思います。

交流会に参加された方は、「知財に興味がある」、「知財を活かして事業で成果を挙げたい」といった意見が多いのはもちろんですが、その一方で、具体的に社内の業務としてどのようなことから取り組めばよいのか分からない、経営者層に知財の重要性をアピールするにはどうすればよいのか分からない、といった相談もありました。弁理士会では、弁理士知財キャラバンなどを通じて、中小企業の皆様への支援を行っている旨をお話しましたが、そうした支援がまだまだ不十分であり、必要な方々に行き届いていないと感じました。

知的財産制度の普及活動にとどまらず、そのような人に向けた支援活動を弁理士会でも積極的に行っていけたらよいのではないかと感じました。

〔交流会での懇談内容〕

- ・セミナーの内容について。セミナーのこの部分はよく理解できたが、この部分はレベルが高くついていけなかったなど。
- ・知財を活かすといっても具体的に何をすればよいのか。
- ・知財のスキルを身に付けるにはどのようなことから始めればよいのか。
- ・経営陣に知財の重要性をアピールするにはどうすればよいのか。

近畿支部知財普及・支援委員会 岸本忠昭・古田昌稔

栃木県立真岡高等学校の訪問学習

1. 日 時：平成30年10月10日（水） 10:00 - 11:30
2. 場 所：近畿支部室
3. 対 象：2年生9名
4. 講 師：水田慎一会員



生徒達に講義を行う講師

5. 内 容：

近畿支部では、昨年に続き、特定非営利活動法人学校サポートセンターからの申し込みを受け、栃木県立真岡高等学校の生徒達に、「弁理士の仕事の社会的役割と具体的内容等」の授業を行いました。今回の授業は、修学旅行の機会を利用して、様々な公共機関、行政機関、民間企業等を訪問し、組織の概要と日々の仕事、仕事の社会的役割等の学習を行うという企画に沿ったもので、近畿支部に訪れた生徒達は、様々な機関の中で、日本弁理士会（近畿支部）を選びました。今年、弁理士の仕事の内容を知りたいと考えた生徒たちは9名でした。

この学校は、公立高校では珍しい男子校で、サッカー部が有名なようです。今回訪問してくれた生徒達の中にも、サッカー部の生徒が2人いました。

授業では、最初に、「知的財産権の概要と弁理士の仕事の内容」について、パンフレット「弁理士 I N F O」を参照しながら、生徒達に説明しました。このパートでは、一方的に私が説明をしていると、非常に退屈になりかねないので、生徒達には、「弁理士 I N F O」の一部を朗読してもらうようにしました。また、知的財産権の重要性を知ってもらうために、「弁理士 I N F O」の説明の途中で、知的財産特別授業で使っている「きき湯※」のコンテンツも使用しました。

その後、弁理士の仕事の具体的内容について、理解を深めるために、私の場合を例にして、弁理士が行っている仕事の例や、クライアントからの出願の依頼を受けてから手続きを終了するまでの仕事の流れについて、説明しました。

次に、今まで行った職業紹介の授業でよく聞かれた質問事項についてまとめた資料に沿って、「1. 私が弁理士になった理由」、「2. 喜びや、やりがい」、「3. 体験談や苦労話」、「4. 弁理士の仕事をするに当たり、高校で養っておきたい資質」について、述べました。

そして、授業のメインイベントの一つである生徒達からの事前質問への回答を行いました。事前質問は、合計27問もありました。昨年と異なり、今年の生徒達の質問は、割とオーソドックスなものが多かったですが、「特許としての強い権利をとるために大切なことは何ですか」とか、「コピー製品であるか否かの線引きは何を基準としているのか」といった、突っ込んだ内容の質問も混じっており、これらの質問については、少し時間をかけて説明しました。

授業の最後には、生徒達に、中学校向けの知財授業で使用している「服の神※」や、私が最近深く関わっているAI関係の最新技術の紹介をしました。このパートでは、AIに関する最近の外国論文に掲載されている図面等を参照して説明しましたので、生徒達も、興味を持って、説明を聞いていました。

今日の授業を切っ掛けに、生徒達が、知的財産権や弁理士への興味を深めてくれれば幸いです。

近畿支部知財授業担当 水田慎一

※「きき湯」は(株)バスクリンの登録商標です。

※「服の神」は(株)日乃本錠前の登録商標です。

「知的財産特別授業」屋久島おおぞら高等学校KTCおおぞら高等学院

1. 日 時：平成30年10月11日（木） 10:25 - 11:15
2. 場 所：KTC中央高等学院・大阪キャンパス
3. 対 象：1, 2年生1クラス40名
4. 講 師：五郎丸正巳会員



興味津々の生徒達に講義を行う講師

5. コメント：

今回、屋久島おおぞら高等学校への知財授業のため、難波にある、同校のサポート校「KTC中央高等学院・大阪キャンパス」を訪れました。屋久島おおぞら高等学校は通信制・単位制の高等学校です。ホームページによれば、世界自然遺産・屋久島の大自然を活かした体験教育や、屋久島で自然と共生をしている地元の人々との交流プログラムを実施しているようです。

担当の先生との事前打ち合わせにおいて、「反応が悪いかもしれないが、できれば対話型の講義にしてください。また、弁理士という職業についても説明してください」との話がありました。そのため、今回の授業では、生徒とのやり取りの多い「ICカードでキーレス&キャッシュレス ～コインロッカー「A i T※」の知的財産権～」(以下、「コインロッカー」といいます)を行いました。併せて、「コインロッカー」の前に、「弁理士の仕事」についての説明を行いました。

「弁理士は旧漢字で辨理士と表すんだよ。『辨理士』の『辨理』には、『物事を判別して適切に処理すること』という意味があるんだよ。」授業が始まると、こちらの話に聴き入ります。弁理士の仕事に絡めて、弁理士の名前の意義についても学びました。

次に、「コインロッカー」に入ります。「コインロッカー」は、「ヒット商品はこうして生まれた！」の小冊子に掲載されている実話をベースとしたコンテンツです。商品開発で出てきたアイデア・デザイン・ネーミング（信用）を権利化して守る重要性を学ぶことができます。「どのような場面でコインロッカーを使う？」、「コインロッカーを使うときに不便に感じることはないかな？」というこちらの問い掛けに積極的に答えてくれます。「反応悪」くなんて、全く感じませんでした。クイズにも、積極的に参加してくれました。えっ、正答率ですか？・・・それは内緒にしておきます。

残りの10分ほどの時間を使って、身近な商品についての最近の知的財産権侵害訴訟例について紹介しました。アップル v s サムスンのスマートフォン特許権訴訟、ストレート麺製法の特許権訴訟などを取り上げました。このような身近な商品に知的財産があり、そこに紛争があることを理解したと思います。

生徒は、最後まで興味を持ちながら聴いていました。商品開発の中における知的財産権の重要性を少しでも理解したなら、この授業は成功だと思います。

近畿支部知財授業担当 五郎丸正巳

※「A i T」はアルファ社の登録商標です。

「知的財産特別授業」舞鶴市立余内小学校

1. 日 時：平成30年10月12日（金） 14:00 - 14:45
2. 場 所：舞鶴市立余内小学校
3. 対 象：5年生2クラス61名
4. 講 師：渥美元幸・齊藤整会員



授業の様子

5. コメント：

京都府北部にある舞鶴市の舞鶴市立余内小学校を訪問しました。今回は鉄道を乗り換えて西舞鶴まで向かいましたが、京都・大阪・神戸の中心地とを結ぶ高速バスが運行されており、乗り換えなしで済むことから、こちらを利用される方も多いようです。

司会役を齊藤会員、博士役を私（渥美）が担当しました。齊藤会員と一緒に知財授業を行うのはおよそ10年ぶりでしたが、スッと授業に入ることができ、息はぴったりと合っていたように思います。

こちらからの質問に「はい！はい！」と手を挙げてくれる積極的な児童が多く、また、その回答も次々と的を射たものが出てきたので、二人とも驚きました。担任の先生は、しっかりと台本を読み込んで怪人X役の準備をしていたとのこと。その演技に児童達は惹きこまれているようでした。

最後に、数人の児童が授業の感想を述べてくれました。「弁理士は世の中の不便を解消する手伝いをしていることがわかった。自分も何かお手伝いができるようになりたい。」という発言に感動しました。一人でも多くの児童達がこのような気持ちになり、それを大切に成長していつもらえたら、きっと未来は明るくなる、そう思いながら帰途に就きました。

近畿支部知財授業担当 渥美元幸

パテントセミナー2018 大阪応用編（第1回）

1. 日 時：平成30年10月13日（土） 14：00－16：30
2. 場 所：TKPガーデンシティ PREMIUM 大阪駅前
3. テー マ：人口知能・IoT 技術のビジネスを守る知的財産
4. 講 師：酒井將行会員
5. 受 講 者：115名



セミナー風景

6. コメント：

パテントセミナー2018の応用編第1回目は、人工知能の研究所で知財を担当している酒井將行会員が「人工知能・IoT技術のビジネスを守る知的財産」というテーマで講義しました。受講者も大勢参加しました。

講義はまず、酒井会員のバックグラウンドに基づき、日本におけるこれまでの技術標準化を主とした知財戦略と現状について解説され、ハードウェアを得るビジネスから、データを用いたサービスを主体とするビジネスへの大きな変化を、具体例を含む特集番組の映像を交えて印象付けていました。

講義では次に、データを用いたサービスの成功例を挙げ、サービス全てについて保護した場合にはサービスの普及が妨げられるところ保護すべき部分が巧く守られている点を説明をしました。具体的には、スマートフォンのOSを無料で提供してエンドユーザの増大を図りつつ、OS上で動作するアプリ開発のために必須となる一部のソフトウェア技術を強固に守ることで、継続的に利益を確保できるビジネス手法を挙げていました。IoTにおけるセンサデータの取得の難しさを、センサを搭載した部品の製造業者が製品を買い取り、顧客へリリースするビジネスによって解決する例も挙げて説明しました。また、2016～2017年にかけて行なわれて注目を浴びたフィンテックに関する裁判における原告の特許、双方の主張を紹介しながら、どのように権利化すべきかのヒントを提示しました。具体的且つ身近で興味を惹かれる内容でした。

知財による保護の方法の答えを提示するのではなく問題を提起するという応用編らしい講義内容となりました。受講者は、酒井会員の話によって有意義な時間を過ごし、また提起された問題に対し、今後の知財による保護の方法について夫々考えを巡らせながら帰途につかれたのではないかと思います。

近畿支部知財普及・支援委員会 八木まゆ

平成30年度知的財産権に関するセミナー in MOBIO-Cafe (第3回)

1. 日 時：平成30年10月17日（水） 18：30－20：00
2. 場 所：ものづくりビジネスセンター大阪（MOBIO）
3. テー マ：中小企業のためのオリジナル商品開発ガイドと知的財産権保護の事例紹介
4. 講 師：大森勇会員
5. 受 講 者：13名



セミナー風景

6. 内 容：

まず、オリジナル商品開発ガイドとして、知財を中心としたコンサルティングを行う場合の一例として、①自社分析による強みの見える化、②開発コンセプトの決定、③具体化と保護など取り組むステップごとに概要の解説がありました。商品開発の早道として、廃棄物を利用する「再生ビジネス」、製品を安価に製造するための「企業連携」などに着目することも有効であるとの説明がありました。

次に、立案・コンセプトの決定と具体化について、事例を交え、立案・コンセプトの決定の際には、特許情報が有効であり、先行技術調査により、当初の立案内容から工夫を加えて変更することで、より良い製品が完成できることの説明がありました。

その後は、立案から設計・試作・権利化・販売まで、知財を活用しながら取り組んだ6事例の紹介がありました。

①特許と実用新案の使い分けのポイント、②特許と意匠とを組み合わせ、技術面及びデザイン面の両面からの保護、さらに、③これらの製品と商標を組み合わせたブランディング及びビジネスモデルの構築、④中小企業でも取り組めるオープン・クローズ戦略など、知財を有効に使いこなすためのアドバイスとなるような内容でした。

近畿支部知財普及・支援委員会 上西敏文

パテントセミナー2018 大阪基礎編（第2回）

1. 日 時：平成30年10月20日（土） 10:00 - 12:30
2. 場 所：近畿支部室
3. テーマ：特許・実用新案入門
4. 講 師：淡路俊作会員
5. 受講者：79名



セミナー風景

6. コメント：

パテントセミナー2018の大阪での基礎編第2回目は、淡路俊作会員が「特許・実用新案入門」というテーマで講義しました。当日は朝から小雨が降っていたにもかかわらず大勢の受講者がいました。

最初に、講師から受講者の知財経験について質問があり、8割程度が知財経験1年未満ということが分かり、本セミナーの対象とされる方が多く出席していることが分かりました。

講義では、まず初めに知的財産権の全体構造について説明をしました。自身のスマートフォンを見せながら、特許権、実用新案権、意匠権、商標権がそれぞれ何を保護対象としているか、また、権利者のみならず需要者の立場からも、知的財産権の有用性について大変分かりやすく紹介し、受講者の関心をグッと惹き付けていました。

そして、特許権を取得した場合の権利活用（差止請求、損害賠償請求、実施権の許諾、譲渡）、特許権取得するまでの流れについて説明をしました。その中では、発明の特許出願する際に、何を提出しなければならないのか、クイズ形式で受講者に質問するなど、受講者の興味をひくような工夫を凝らしていました。また、具体例としてカドケシの明細書を題材に、請求項の権利範囲の考え方について分かりやすく解説しました。

続いて、特許出願から登録までに掛かる費用、特許の対象となる発明、新規性・進歩性・記載要件、拒絶理由とその対応について説明し、特許権取得までの流れや手続きについて受講者がしっかりと理解したものと思われます。

後半の講義では、J-PlatPatを用いた特許調査について説明がありました。中でも、特許調査の目的として、出願した自己の特許出願が新規性や進歩性を有しているかどうかというだけでなく、誤って第三者の権利を侵害しないためにも重要であることを強調して話し、多くの受講者がその話に集中していました。

講義では、法律用語が多く登場しましたが、具体例を挙げながらわかり易く丁寧に説明し、知財経験が少ない受講者にとっても基礎知識が十分得られたものと思います。また、休憩中やセミナー終了後も質問が多く、受講者にとって、関心高い講義内容であり、有意義な時間を過ごしたものと思いました。

近畿支部知財普及・支援委員会 後利彦

パテントセミナー2018 大阪基礎編（第3回）

1. 日 時：平成30年10月20日（土） 14:00 - 16:30
2. 場 所：近畿支部室
3. テー マ：意匠・商標制度入門 ～ J-PlatPat を利用した調査から出願まで～
4. 講 師：岡村美穂会員
5. 受 講 者：95名



セミナー風景

6. 内 容：

パテントセミナー2018大阪基礎編のラストを飾る第3回は、商標登録出願および意匠登録出願に精通している岡村美穂会員が「意匠・商標制度入門 ～ J-PlatPat を利用した調査から出願まで～」というテーマで、講義しました。

講義の前半では、まず、J-PlatPat を利用した意匠調査および商標調査の手法について、パイロット社製のボールペンを例に挙げながら、解説しました。そして、「意匠権を取るメリット」、「商標権を取るメリット」についても解説しました。

次いで、「意匠権を取るにはどうしたらよいか?」、「どんなものに意匠権が取得できるか?」、「意匠権の登録要件」等について解説しました。また、意匠登録の具体例も紹介しました。

講義の後半では、「商標権を取るにはどうしたらよいか?」、「どんなものに商標権が取得できるか?」、「商標権の登録要件と具体的不登録事由」等について詳細に解説しました。とくに、「実務によく出てくる拒絶条項」として、「商標法3条1項3号および商標法4条1項16号の例」、「商標法4条1項11号の例」の各々について、具体例を挙げながら解説しました。また、商標法4条1項11号の拒絶をクリアできない場合の対応策も示しました。

さらに、「意匠権が消滅する場合」および「商標権が消滅する場合」というテーマで、登録無効審判や、商標の不使用取消審判についても解説しました。不使用取消審判は、実務上も重要であることから、事例を交えて具体的に解説しました。

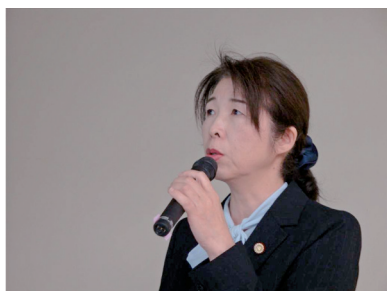
講義の最後には、「商品のデザインについて、立体商標の商標権での保護と意匠権での保護、どちらが適しているのか」等、幾つかの質問が会場からありました。岡村会員は、実務的な観点から丁寧に回答していました。

今回の講義では、ポイントを押さえながら、意匠制度と商標制度を網羅的に解説しました。「入門編」であるものの、実務上の留意点が随所に盛り込まれており、直ぐに役に立ちそうな素晴らしい講演になりました。

近畿支部知財普及・支援委員会 五郎丸正巳

パテントセミナー2018 奈良

1. 日 時：平成30年10月27日（土） 14：00－16：30
2. 場 所：やまと会議室
3. テー マ：知財ミックスによる権利保護
4. 講 師：松山徳子会員
5. 受 講 者：17名



セミナー風景

6. 内 容：

今回のパテントセミナーは、奈良公園のすぐ近くにある「やまと会議室」で行われました。当日は、少し曇ってはいましたが秋らしい穏やかな気温であり、散策にはうってつけの日でした。

奈良地区会長でもある松山徳子会員による近畿支部および奈良地区会の簡単な紹介の後、「知財ミックスによる権利保護」をテーマとして二時間半講演しました。

セミナーの出だしで、同会員は、知財(権)ミックスとは複数の権利によって知的財産を保護することであり、その目的が「市場で優位性を獲得し、企業イメージを高める・広める・守ること」であることを話しました。続けて、知財ミックスに当てはまる商品を具体的に挙げながら、それら商品を保護している法律について、概要を説明しました。

セミナーの半ば以降において、商標法、意匠法、および著作権法をメインに、これらの法律がいかに互いに交錯つまり“ミックス”しているのかについて、説明しました。商標法を基準とした他法との比較、各法律の詳細な解説、および有名な登録例や判例の紹介など、様々な観点からの説明であったため、どのように法律がミックスしているのかについて、受講者が十分に理解したのではないかと思います。さらに、新しいタイプの商標やスローガンなどの最近の登録状況や意匠法の今後の改正など、最新の情報についても言及しました。

セミナーが行われた日は、偶然にも正倉院展の初日でした。1000年より長い年月を経て伝えられる宝物を見ながら、知的財産も永きに亘って伝えられるべきものの一つであることに気づき、両者の縁を感じました。今回のセミナーを受講された方から、宝物に勝るとも劣らない知的財産が生み出されることがあれば…と思います。

近畿支部知財普及・支援委員会 中山聡

パテントセミナー2018 京都 午前の部

1. 日 時：平成30年11月3日（土） 10:00-12:30
2. 場 所：京都リサーチパーク
3. テー マ：これだけは押さえておこう！事例で理解する企業活動における著作権
4. 講 師：松下正会員
5. 受講者：57名



セミナー風景

6. コメント：

パテントセミナー2018京都の午前の部は、松下正会員が「これだけは押さえておこう！事例で理解する企業活動における著作権」というテーマで講義しました。この日は朝からお天気もよく、申込数通りに来てもらえるか（観光地に行ってしまうかないか？）と少し心配しましたが、50名を超える参加があり、著作権に対する関心の高さを感じました。

講義の最初に、「これって著作権違反？」と私たちがよく考える身近な事例を取り上げて受講者の方々の問題意識を明確にした後、現代社会において著作権侵害となる事例が増えていること、その一方で著作権を上手く利用することによりビジネスが成功した例などを説明しました。

次に「まずは基本をマスターする」との趣旨から、「著作権は、オリジナルなものをコントロールする権利です」と原則をまず押さえた後、「オリジナルなものとは何か」「どのようにしてコントロールできるのか」と説明が進み、後半で「例外を押さえましょう」と、私的コピー、教育機関における複製、引例などの「効力が制限される場合」について具体的な要件を示しながら解説しました。このような原則から例外へと進む明快な説明によって、「著作権って例外規定がたくさんあって、侵害か否かの判断がよくわからない」と複雑にとらえていた著作権の「押さえどころ」が明確になりました。

2時間半の講義でしたが、受講者は最後まで関心をもって受講していました。講義終了前に、松下会員が少し早めに質問時間を設けましたが、終了予定時刻を過ぎてもまだ質問が続いた上に、講義終了後にも質問者の長い列ができ、大変盛況でした。

近畿支部知財普及・支援委員会 立川伸子

平成30年度知的財産権に関するセミナー in MOBIO-Cafe (第4回)

1. 日 時：平成30年11月7日（水） 18：30－20：00
2. 場 所：ものづくりビジネスセンター大阪（MOBIO）
3. テー マ：ビジネスに活かす知財の視点
～海外進出など事業拡大に向けて新たな商機を逃さないために！～
4. 講 師：INPIT-KANSAI※ 統括知財戦略エキスパート 川島泰介氏
進行役 上西敏文会員
5. 受 講 者：13名



セミナー風景

6. 内 容：

本セミナーは大阪府の中小企業支援部署と当支部との共催事業として企画し、中小企業へのINPIT-KANSAIの周知も兼ねて、統括知財戦略エキスパートの川島氏が、海外進出時の問題点やリスク管理などに関して知財の視点から講演しました。

川島氏は輸送機器メーカーの知財担当として海外駐在の経験も有り、侵害品対策や現地代理店等との契約など、現場での豊富な経験に支えられた海外進出時の留意点や考え方を分かりやすい言葉で説明し、知的財産実務に馴染みの無い参加者にも知財の観点からビジネスモデルを見直すことの重要性を伝えることができたと思われます。

約1時間の川島氏の講演後、上西会員も登壇し、海外進出モデルの仮想事例を用いて参加者を交えてどのような知財リスクが内在しているかをディスカッションしました。参加者からも様々な意見が出され、知財の視点からのビジネスモデルの確認手順を疑似体験することで、INPIT-KANSAI並びに弁理士の活用法を理解したものと思われます。

近畿支部知財普及・支援委員会 村上太郎

※（独行）工業所有権情報・研修館近畿統括本部）

パテントセミナー2018 大阪外国編 第3回

1. 日 時：平成30年11月10日（土） 14:00 - 16:30
2. 場 所：近畿支部室
3. テー マ：外国商標入門から応用まで
4. 講 師：石川克司会員
5. 受 講 者：74名



セミナー風景

6. 内 容：

パテントセミナー2018大阪外国編 第3回目は、商標の外国出願について豊富な実務経験がある石川克司会員が「外国商標入門から応用まで」というテーマで講義しました。

最初に「何故ブランド戦略が大事なのか」、「何故ブランドが模倣されるのか」等についてトラブルの実例を交えて説明し、その本質を踏まえて、各制度の具体的内容を説明するという流れでした。ブランド価値を高めることにより、価格競争からの脱却、宣伝広告費用の削減等の利益が得られる。ブランドの模倣は、単に「字づら」が模倣されているのではなく、これらの利益が盗まれることであり大問題である。そして、これを防ぐ手段を具体的に分かり易く説明していたのが印象的でした。

また、日本の商標制度を理解し、これと対比するかたちで勉強すれば、外国商標は決して怖くない（難しくない）ことを参加者に語りかけるように説明し、それに沿って、日本、中国、韓国、台湾、米国、欧州、マドリッドプロトコルについて対比的な説明が進められ、非常に分かり易い講義内容でした。

講義終了後に多くの参加者が質問の列をつくる等、非常に有意義なセミナーとなりました。

近畿支部知財普及・支援委員会 大塚雅晴

「知的財産特別授業」宮崎県立宮崎南高等学校

1. 日 時：平成30年11月15日（木） 13：50－15：50
2. 場 所：宮崎県立宮崎南高等学校
3. 内 容：「知的財産制度ってなあに」（座学）（前半50分）
「商品開発と商標」（実習）（後半50分）
4. 対 象：同校フロンティア科1年（84名）
5. コメント：

2時限分ありましたので、前半1時限は「知的財産制度ってなあに」と題しまして、次のような内容について講義しました。

- ① 知的財産の種類、産業財産権とは（カルビーと高校生が開発したポテトチップスの例を紹介）
- ② 「商標」って何？ 商標の機能、商標の種類（立体商標、音の商標、色の商標の登録例を紹介）
- ③ 商標登録願、商標の登録要件「商標の類似」とは、商標登録出願の流れ

後半の1時限は、コンピュータ設備のある教室に移動して、4人のグループを作り、グループごとに宮崎県の名産品を活かした「商品開発」を検討し、全グループよりその商品について、コンセプト、商品名を発表してもらいました。そして、その商品に商標を検討するため、「商標の登録要件」を簡単に説明し、他人の商標出願、登録商標を検索するため「J-Plat Pat」の検索方法を説明し、検討した商標について検索し、その結果をグループごとに発表してもらいました。

生徒は、講義内容を興味をもって聴講したようで、時には質問し、理解を深めることができましたと思います。また、コンピュータを使用しての検索では、検索方法を理解し、積極的に検索し、商標の検討方法の一部を体験しました。

全体としては、2時限（実質1時間40分）で「知的財産制度」全般を講義することは不可能だと思いますが、今回は「商標」について特化したことで、ある程度まとまった内容になったかと思います。

九州支部 田代茂夫

2 支援活動予定表（1月から）

相 談

日本弁理士会が各支部で実施している「常設知的財産相談室」へのアクセスについては、最終頁をご参照ください。

北海道支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
北海道	毎週火・金曜日	常設知的財産相談室	北海道支部室	支部所属弁理士
	月2回	特許アドバイザー相談会	中小企業基盤整備機構	熊野彩 金丸清隆

東北支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
宮城	毎週火曜日 (13:00~16:00)	常設知的財産相談室	東北支部室	支部所属弁理士

関東支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
埼玉	19.01.10 19.02.14 19.03.14	士業専門家による無料相談会（埼玉）	創業・ベンチャー支援センター埼玉	飯塚道夫 桂田健志 上村欣浩 武田寧司
	19.02.06	農と食の展示・商談会2019	埼玉スーパーアリーナ コミュニティアリーナ	埼玉委員会委員
東京	19.01.15 19.02.19 19.03.19	平成30年度下期 多摩地区無料知的財産相談会	たましん事業支援センター（Winセンター）	山口幸久 本谷孝夫 三原秀子 下村和夫
	19.01.25 19.02.22 19.03.22	平成30年度下期 BusiNest無料知的財産相談会	BusiNest内会議室	下田一弘 保坂俊 磯野政雄 本谷孝夫
神奈川	19.01.11 19.01.25 19.02.08 19.02.22 19.03.08 19.03.22	神奈川県立川崎図書館 平成30年度知的財産相談事業	県立川崎図書館知財スポット	野口明生 大谷元 水野恒雄 植木泰弘 東谷勉 石塚良一 後藤仁志
	19.02.06-08	第40回工業技術見本市 「テクニカルショウヨコハマ2019」	パシフィコ横浜展示ホールA・B・C	藤巻正憲 小林俊雄 中村 誠 横川憲広 後藤仁志 相澤正徳
	19.02.07-08	第11回川崎国際環境技術展	カルッツかわさき	金子正彦 植木泰弘 金沢彩子 水野恒雄
山梨	19.01.22	弁理士による特許無料相談会（北杜）	北杜市商工会1階相談室	栗原康浩

北陸支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
石川	18.01.16	常設知的財産相談室	北陸支部室	松田忠秋
	18.01.30	常設知的財産相談室	北陸支部室	海野徹

東海支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
愛知	月～金 (13:00~16:00)	常設知的財産相談室	東海支部室	支部所属弁理士

近畿支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
京都	月～金 (10:00~12:00、 13:00~17:00)	「特許・商標等」の無料相談 (要予約・個人面談方式)	京都府北部：舞鶴商工会議所 京都府中部：担当弁理士の事務所又は はオフィス・ワン四條烏丸 京都府南部：京田辺市商工会館	京都地区会所属弁理士
大阪	月～金 (10:00~12:00、 14:00~16:00)	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	近畿支部室	近畿支部所属弁理士

中国支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
鳥取	19.01.07 19.02.06 19.03.06	知財総合支援窓口	鳥取県産業振興機構西部支部内	田中俊夫
	19.01.17 19.01.10 19.01.24 19.02.07 19.02.14 19.02.21 19.03.07 19.03.14 19.03.21	知財総合支援窓口	鳥取県発明協会 （鳥取県産業振興機構内）	黒住智彦 中西康裕 田中秀明 黒住智彦 中西康裕 田中秀明 黒住智彦 中西康裕 田中秀明
島根	19.01.09	知財総合支援窓口	益田商工会議所	田辺義博
	19.01.11 19.01.18 19.01.25 19.01.28 19.02.01 19.02.08 19.02.15 19.02.22 19.03.01 19.03.08 19.03.15 19.03.22	知財総合支援窓口	しまね知的財産総合支援センター	河野生吾 田辺義博 河野誠 松本文彦 田辺義博 河野生吾 松本文彦 河野誠 田辺義博 河野生吾 松本文彦 河野誠
	19.01.23	知財総合支援窓口	大田商工会議所	河野誠
	19.02.06	知財総合支援窓口	石見事務所	河野生吾
	19.03.13	知財総合支援窓口	益田商工会議所	田辺義博
	19.01.10 19.02.14 19.03.14	知的財産相談会	倉敷商工会議所	森廣三郎
	19.01.11 19.01.18 19.01.25 19.02.01 19.02.08 19.02.15 19.02.22 19.03.01 19.03.08 19.03.15 19.03.22	知財総合支援窓口	（一社）岡山県発明協会	森寿夫 中務茂樹 伊藤俊一郎 須田英一 森寿夫 中務茂樹 須田英一 伊藤俊一郎 森寿夫 中務茂樹 須田英一
岡山	19.01.15 19.02.19 19.03.19	なんでも相談（特許商標担当）	児島商工会議所	森廣三郎
	19.01.08 19.01.15 19.01.22 19.01.29 19.02.05 19.02.12 19.02.19 19.02.26 19.03.05 19.03.12 19.03.19 19.03.26	知財総合支援窓口	（一社）広島県発明協会	大西渉 田中咲江 鶴亀國康 立石博臣 立石博臣 大西渉 田中咲江 鶴亀國康 立石博臣 大西渉 田中咲江 鶴亀國康
広島	19.01.17 19.02.07 19.02.21 19.03.07	知財総合支援窓口	（一社）広島県発明協会福山	森 寿夫
	19.01.07 19.01.09 19.01.16 19.01.23 19.02.06 19.02.13 19.02.20 19.02.27 19.03.06 19.03.13 19.03.20 19.03.27	知的財産権に関する相談	やまぐち産業振興財団	木村正彦 金井一美 今中崇之 井上浩 木村正彦 金井一美 今中崇之 井上浩 木村正彦 金井一美 今中崇之 井上浩
山口	19.01.07 19.01.09 19.01.16 19.01.23 19.02.06 19.02.13 19.02.20 19.02.27 19.03.06 19.03.13 19.03.20 19.03.27	知的財産権に関する相談	やまぐち産業振興財団	木村正彦 金井一美 今中崇之 井上浩 木村正彦 金井一美 今中崇之 井上浩 木村正彦 金井一美 今中崇之 井上浩

山口	19.01.08 19.02.12 19.03.12	知的財産権に関する相談	萩商工会議所	木村正彦
	19.01.10 19.02.14 19.03.14	知的財産権に関する相談	柳井商工会議所	川角栄二
	19.01.10 19.02.14 19.03.14	知的財産権に関する相談	宇部商工会議所	藤本昌平
	19.01.11 19.02.08 19.03.08	知的財産権に関する相談	下関商工会議所	鯨田雅信
	19.01.15 19.02.19 19.03.19	知的財産権に関する相談	岩国商工会議所	立石博臣
	19.01.16 19.02.20 19.03.20	知的財産権に関する相談	山口県産業技術センター	井上浩
	19.01.21 19.02.18 19.03.18	知的財産権に関する相談	徳山商工会議所	専徳院博

四国支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
徳島	第1水曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	工業技術センター	支部所属弁理士
香川	第2水曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	四国支部室	支部所属弁理士
愛媛	第1月曜日（奇数月） 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	四国中央商工会議所	支部所属弁理士
	第2木曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	愛媛県商工会連合会	支部所属弁理士
	第2木曜日（奇数月） 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	宇和島商工会議所	支部所属弁理士
	第3木曜日（奇数月） 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	八幡浜商工会議所	支部所属弁理士
高知	第3木曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	高知県発明協会	支部所属弁理士

九州支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
福岡	毎週木曜 10:00～15:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	九州支部室	支部所属弁理士

講演

関東支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
茨城	19.01.29	SATテクノロジー・ショーケース2019	つくば国際会議場	茨城委員会委員
	19.02.19	ものづくり企業フォーラム2019	つくば国際会議場	茨城委員会委員
埼玉	19.01.30-31	彩の国ビジネスアリーナ2019	さいたまスーパーアリーナ	埼玉委員会委員
千葉	19.02.09	（一社）千葉県発明協会	県立現代産業科学館	日向麻里 松本慎一郎
東京	19.02.21	知的財産セミナー2018（千代田（海1））	弁理士会館	前原久美 木村晋朗
	19.02.22	知的財産セミナー2018（町田）	町田市庁舎2階 市民協働おうえん ルーム	上田精一 関山秀樹
	19.01	知的財産特別授業	小田原市立三の丸小学校	根岸宏子 佐藤高信 バーナード正子
	19.02.21-22	第18回たま工業交流展	都立多摩職業能力開発センター人材 育成プラザ	東京委員会委員
	19.02.22	生活科学系大学知財管理ネットワーク 大学職員向け知的財産研修会	実践女子大学日野キャンパス会議室	深澤潔
	19.02.28	第12回としまMONOづくりメッセ	サンシャインシティ展示ホールB	東京委員会委員
	19.03	知的財産特別授業	板橋区立板橋第一中学校	岩崎孝治 バーナード正子
神奈川	19.01.29	知的財産特別授業	横浜市立もえぎ野中学校	高橋友和 美川公司
	19.01.30	神奈川県立川崎図書館 平成30年度知的財産セミナー	県立川崎図書館カンファレンスルー ム	木下茂
	19.02	知的財産特別授業	小田原市立新玉小学校	高橋友和 小屋迫利恵

東海支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
愛知	19.01.10	東海支部協力講座 「教養教育課程～知的財産権制度のしくみと 活用～外国特許」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	谷口縁理
	19.01.17	東海支部協力講座 「教養教育課程～知的財産権制度のしくみと 活用～知的財産関連法規まとめ」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	石原五郎
	19.01.17	知的財産経営サロン 「商標・意匠の重要性を知る～企業価値を高 めるブランド&デザイン～」	東海支部室	知的財産支援委員 会
	19.01.19	休日パテントセミナー2018 in名古屋 「意匠権・商標権について～デザイン・ブ ランドを知的財産にしよう！～」	名古屋商工会議所	和気光 平松隆彦
	19.01.21	東海支部協力「発明クラブ」	名古屋市立高蔵小学校	大川智也 古市昭博
	19.01.24	東海支部協力講座 「教養教育課程～知的財産権制度のしくみと 活用～紛争劇」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	藤谷修 菊谷純 高田珠美 村瀬晃代 塩谷尚人 成田明子 野崎洋平
	19.01.31	東海支部協力講座 「教養教育課程～知的財産権制度のしくみと 活用～試験」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	大学側

近畿支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
京都	19.01.11	知的財産特別授業	京都市立嵐山東小学校	松山徳子 立川伸子
大阪	19.01.16	知的財産特別授業	高槻市立北大冠小学校	竹口美穂 八木まゆ
	19.01.18	知的財産特別授業	大阪市立三先小学校	古田昌穂 村上太郎
	19.01.24	知的財産特別授業	高槻市立柳川小学校	竹口美穂 田中信治
	19.01.29	知的財産特別授業	大阪市立四貫島小学校	五郎丸正巳 岡本智之
	19.02.05	知的財産特別授業	藤井寺市立藤井寺西小学校	宮崎栄二 田中聡
	19.02.08	知的財産特別授業	羽曳野市立高鷺小学校	渥美元幸 岩本泰雄
	19.02.08	知的財産特別授業	香里ヌヴェール学院小学校	光明寺大道 中野賢太
	19.02.13	知的財産特別授業	島本町立第一小学校	後利彦 石原広隆
	19.02.15	知的財産特別授業	大阪市立新東三国小学校	淡路俊作 寺園健一
兵庫	19.01.10	知的財産特別授業	西脇市立日野小学校	柳瀬智之 大野義也
	19.01.17	知的財産特別授業	尼崎市立立花西小学校	山田淳一 岡村美穂
	19.01.23	知的財産特別授業	県立尼崎工業高等学校	後利彦 吉岡亜紀子
	19.01.25	知的財産特別授業	神戸市立南五葉小学校	柳瀬智之 片岡眞
	19.02.27	知的財産特別授業	芦屋市立潮見小学校	岡村美穂 久保田静男
奈良	19.02.22	知的財産特別授業	大和高田市立菅原小学校	大西正夫 吉永元貴
和歌山	19.01.10	知的財産特別授業	橋本市立信太小学校	五郎丸正巳
	19.01.10	知的財産特別授業	和歌山工業高等専門学校	山田淳一 久保田静男

四国支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
愛媛	19.02.19	知的財産特別授業	県立大洲高等学校	壬生優子

九州支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
福岡	19.01.22	校内知財学習会	県立香椎工業高等学校	下田正寛
宮崎	19.02.02	知的財産特別授業	県立宮崎北高等学校	園田康弘

その他

関東支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
神奈川	19.01.24 19.03.28	平成30年度 企業関係者と弁理士の知財研究会	県立川崎図書館ディスカッション ルーム	保科敏夫 鈴木一徳

近畿支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
大阪	未定	第38回優秀発明賞 表彰式	未定	未定

九州支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
鹿児島	19.2.22～24	かごしまデザインフェア2019	かごしま県民交流センター	未定

3

支援活動一覧表（12月分）

相 談

日本弁理士会が各支部で実施している「常設知的財産相談室」へのアクセスについては、最終頁をご参照ください。

北海道支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
北海道	毎週火・金曜日	常設知的財産相談室	北海道支部室	支部所属弁理士
	月2回	特許アドバイザー相談会	中小企業基盤整備機構	熊野彩 金丸清隆

東北支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
宮城	毎週火曜日 (13:00～16:00)	常設知的財産相談室	東北支部室	支部所属弁理士

関東支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
埼玉	18.12.13	士業専門家による無料相談会（埼玉）	創業・ベンチャー支援センター埼玉	飯塚道夫 桂田健志 上村欣浩 武田寧司
東京	18.12.18	平成30年度下期 多摩地区無料知的財産相談会	たましん事業支援センター（Winセンター）	山口幸久 本谷孝夫 三原秀子 下村和夫
	18.12.21	平成30年度下期 BusiNest無料知的財産相談会	BusiNest内会議室	下田一弘 保坂俊 磯野政雄 本谷孝夫
神奈川	18.12.14	神奈川県立川崎図書館 平成30年度知的財産相談事業	県立川崎図書館知財スポット	野口明生 大谷元 水野恒雄 植木泰弘 東谷勉 石塚良一 後藤仁志
山梨	18.12.18	弁理士による特許無料相談会（北杜）	北杜市商工会1階相談室	栗原康浩

北陸支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
石川	18.12.12	常設知的財産相談室	北陸支部室	橋爪慎哉

東海支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
愛知	月～金 (13:00～16:00)	常設知的財産相談室	東海支部室	支部所属弁理士
	18.12.04	愛知大学における自由業団体ガイダンス	愛知大学名古屋校舎	加藤康幸 鈴木ひとみ
三重	18.12.19	日本弁理士会と（独行）国立高等専門学校機構との「知的財産教育の充実及び知的財産活用のための協力に関する協定」に基づく知財授業	鈴鹿工業高等専門学校	花田久丸

近畿支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
京都	月～金 (10:00～12:00、 13:00～17:00)	「特許・商標等」の無料相談 (要予約・個人面談方式)	京都府北部：舞鶴商工会議所 京都府中部：担当弁理士の事務所又は はオフィス・ワン四条烏丸 京都府南部：京田辺市商工会館	京都地区会所属 弁理士
大阪	月～金 (10:00～12:00、 14:00～16:00)	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	近畿支部室	近畿支部所属弁 理士

支援活動一覧表 相談

四国支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
徳島	第1水曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	工業技術センター	支部所属弁理士
香川	第2水曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	四国支部室	支部所属弁理士
愛媛	第1月曜日（奇数月） 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	四国中央商工会議所	支部所属弁理士
	第2木曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	愛媛県商工会連合会	支部所属弁理士
	第2木曜日（奇数月） 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	宇和島商工会議所	支部所属弁理士
	第3木曜日（奇数月） 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	八幡浜商工会議所	支部所属弁理士
高知	第3木曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	高知県発明協会	支部所属弁理士

中国支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
鳥取	18.12.05	知財総合支援窓口	鳥取県産業振興機構西部支部内	田中俊夫
	18.12.06	知財総合支援窓口	鳥取県発明協会（鳥取県産業振興機構内）	黒住智彦
	18.12.13	知財総合支援窓口		中西康裕
島根	18.12.12	知財総合支援窓口	しまね知的財産総合支援センター	松本文彦
	18.12.14			田辺義博
	18.12.21			河野生吾
岡山	18.12.25	知財総合支援窓口	石見事務所	河野誠
	18.12.14			河野生吾
	18.12.07			中務茂樹
	18.12.14			森寿夫
	18.12.13			森廣三郎
広島	18.12.18			森廣三郎
	18.12.04	知財総合支援窓口	（一社）広島県発明協会	立石博臣
	18.12.11	知財総合支援窓口		大西渉
山口	18.12.06	知財総合支援窓口	（一社）広島県発明協会福山	森寿夫
	18.12.20	知財総合支援窓口		森寿夫
	18.12.01	知的財産権に関する相談		木村正彦
	18.12.12	知的財産権に関する相談		金井一美
	18.12.11	知的財産権に関する相談		木村正彦
	18.12.13	知的財産権に関する相談		川角栄二
	18.12.13	知的財産権に関する相談		藤本昌平
	18.12.14	知的財産権に関する相談		鯨田雅信
山口	18.12.17	知的財産権に関する相談	徳山商工会議所	専徳院 博
	18.12.19	知的財産権に関する相談		井上浩

九州支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
福岡	毎週木曜 10:00～15:00	常設知的財産相談室 （要予約・個人面談方式）	九州支部室	支部所属弁理士
	18.12.08	くらし・事業なんでも相談会	[福岡] あいれふ	坪内寛 森博
熊本	18.12.11	熊本地震復興支援無料相談会	熊本商工会議所	高橋省吾 高宮章 吉永純一 森田海幹 山崎公輔 丸山真二郎

講演

北海道支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
北海道	18.12.12	知財のミカタ～巡回特許庁in北海道～	ACU-Y	大窪智行

関東支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
埼玉	18.12.13	知的財産セミナー2018（さいたま）	埼玉大学	川口康 石井良和 松岡浩司
東京	18.12.06	知的財産セミナー2018（千代田）	日本政策金融公庫 東京支店	前田健一
山梨	18.12.01	（一社）山梨県発明協会	アイメッセ山梨4階 大会議室	久米輝代 志村正樹 磯部光宏

東海支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
静岡	18.12.05	日本弁理士会と（独行）国立高等専門学校機構との「知的財産教育の充実及び知的財産活用のための協力に関する協定」に基づく知財授業「概要編」	沼津工業高等専門学校	阿出川豊
愛知	18.12.05	日本弁理士会と（独行）国立高等専門学校機構との「知的財産教育の充実及び知的財産活用のための協力に関する協定」に基づく知財授業「紛争劇」	豊田工業高等専門学校	藤谷修 菊谷純 高田珠美 藤田早百合 塩谷尚人 加藤拓司 野崎洋平
	18.12.06	東海支部協力講座「教養教育課程～知的財産権制度のしくみと活用～著作権法1」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	川井雅登
	18.12.13	東海支部協力講座「教養教育課程～知的財産権制度のしくみと活用～著作権法2」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	川井雅登
	18.12.14	県立刈谷工業高等学校における知財授業「知的財産権全般について」	県立刈谷工業高等学校	奥田誠
	18.12.15	休日パテントセミナー2018 in名古屋「知的財産戦略の基礎知識～知的財産戦略を構築するために～」	名古屋商工会議所	戸原健太
	18.12.17	東海支部協力「発明クラブ」	名古屋市立高蔵小学校	石原五郎 加藤大輝
	18.12.18	県立鶴城丘高等学校における知財授業	県立鶴城丘高等学校	藤谷修 菊谷純 高田珠美 村瀬晃代 塩谷尚人 成田明子 野崎洋平
	18.12.18	県立刈谷工業高等学校における知財授業「知的財産権全般について」	県立刈谷工業高等学校	奥田誠
	18.12.20	知的財産経営サロン「知財活用セミナー・施設見学」	名古屋市工業研究所	外部講師 知的財産支援委員会
三重	18.12.19	日本弁理士会と（独行）国立高等専門学校機構との「知的財産教育の充実及び知的財産活用のための協力に関する協定」に基づく知財授業	鈴鹿工業高等専門学校	花田久丸

近畿支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
滋賀	18.12.08	平成30年度「弁理士の日」記念事業 講演会「よくわかる滋賀県のブランド戦略」	ボストンプラザ草津びわ湖	平井喜与治氏(滋賀県食のブランド推進課課長) 三宅肇氏(滋賀県東北部工業技術センター主任指導員) 川島泰介氏(INPIT-KANSAI 統括知財戦略エキスパート)
京都	18.12.13	知的財産特別授業	福知山市立佐賀小学校	中山聡 茅島真吾
	18.12.11	開発技術者向け「特許公報読み方教室」第3回 自社の特許公報を読みながら、理解しよう!	アーチウェイH・Cビル	龍竹史朗

大阪	18.12.03	知的財産特別授業	府立和泉高等学校	山田淳一 中山聡
	18.12.05	知的財産特別授業	大阪市立長吉南小学校	柳瀬智之 八木まゆ
	18.12.05	知的財産権に関するセミナー（第5回） 「儲かる会社はココが違う！～企業力を高める「弁理士」との付き合い方～」	ものづくりビジネスセンター大阪（MOBIO）	沖本周子
	18.12.08	パテントセミナー2018 大阪応用編第2回 「商標権侵害の法的対応の現場と実際～当事者目線からどのように対応すべきか～」	TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前	三山峻司
大阪	18.12.11	知的財産特別授業	河内長野市立小山田小学校	赤岡和夫 高野洋一
	18.12.14	知的財産特別授業	府立千里高等学校	三宅康雅 吉岡亜紀子
	18.12.15	パテントセミナー2018 大阪応用編第3回 「知的財産契約のツボ」	TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前	森本純
	18.12.17	三会協働知財支援プロジェクト 企業力向上セミナー 「経営をデザインする～知財を活かした事業価値の創出～」	大阪イノベーションハブ プレゼンスペース	小林誠氏（デロイト トーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社 知的財産グループ シニアヴァイスプレジデント・K.I.T.虎ノ門大学院客員教授） 公認会計士 吉永徳好氏 阿部寛志 内田誠
	18.12.18	知的財産特別授業	東大阪市立楠根小学校	光明寺大道 山根広昭
	18.12.19	知的財産特別授業	河内長野市立川上小学校	三方英美 大代和昭
兵庫	18.12.01	パテントセミナー2018 兵庫午前の部 「米国先進企業のAI特許を通じて学ぶ米国でのAI特許権利化のポイント」	三宮コンベンションセンター	河野英仁
	18.12.01	パテントセミナー2018 兵庫午後の部 「知れば知るほど面白い外国特許制度のポイント～ASEAN、中国、インド～」	三宮コンベンションセンター	井上一生
	18.12.11	知的財産特別授業	上郡町立高田小学校	大野義也 石井里依子
奈良	18.12.08	知的財産講座&無料相談会	県立図書情報館	金田敏孝

四国支部

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会場	講師（弁理士、他）
愛媛	2018.12.6	知的財産特別授業	県立西条農業高等学校	村上武栄

九州支部

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会場	講師（弁理士、他）
宮崎	18.12.06	知的財産特別授業	県立宮崎工業高等学校	崎田健二

その他

東北支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
宮城	18.12.11	第31回みやぎ発明くふう展及び第22回みやぎ未来の科学の夢絵画展	ホテル白萩	藤田正広

関東支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
東京	18.12.04	女性専門職のためのジョイント・ミーティング	弁護士会館内10階1003会議室	高原千鶴子

東海支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
愛知	18.12.08	あいち青少年少女創意くふう展 2018 表彰式	産業技術記念館	井上佳知

九州支部

開催県	日 付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
沖縄	18.12.23	未来の科学の夢絵画展表彰式	県立博物館・美術館講堂	西平守秀 本堂裕司

常設知的財産相談室(無料)

※すべて事前予約制です。

北海道



011-736-9331

URL: <http://jpaa-hokkaido.jp/>

相談時間: 毎週火曜日・金曜日 / 14:00 ~ 16:00

東北



022-215-5477

URL: <http://www.jpaa-tohoku.jp/>

相談時間: 毎週火曜日 / 13:00 ~ 16:00

北陸



076-266-0617

URL: <http://www.jpaa-hokuriku.jp/>

相談時間: ※相談日はホームページをご覧ください。

関東



03-3519-2707

URL: <http://www.jpaa-kanto.jp/>

相談時間: 月~金曜日 / 10:00 ~ 12:00、
14:00 ~ 16:00

東海



052-211-3110

URL: <http://www.jpaa-tokai.jp/>

相談時間: 月~金曜日 / 13:00 ~ 16:00

近畿



06-6453-8200

URL: <http://www.kjpaa.jp/>

相談時間: 月~金曜日 / 10:00 ~ 12:00、
14:00 ~ 16:00

中国



082-224-3944

URL: <http://www.jpaa-chugoku.jp/>

相談時間: 毎週水曜日 / 13:00 ~ 15:00

四国



087-822-9310

URL: <http://jpaa-shikoku.jp/>

相談時間: ※相談日はホームページをご覧ください。

九州



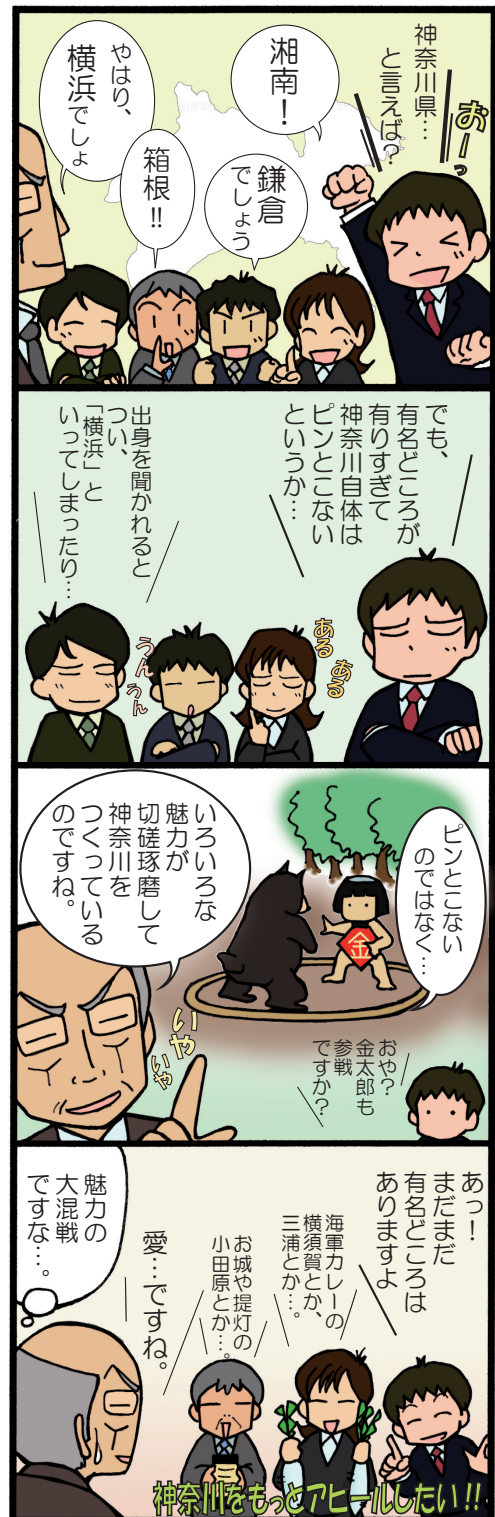
092-415-1139

URL: <http://www.jpaa-kyusyu.jp/>

相談時間: 毎週木曜日 / 10:00 ~ 12:00、
13:00 ~ 15:00

それいけ 支援センタくん

飯岡 菜子



お問い合わせやご送付先に変更がございました場合には 日本弁理士会 第3事業部 経営・支援室まで
電 話: (03)3519-2709 FAX: (03)3519-2706
MAIL: shien@jpaa.or.jp
H P: https://www.jpaa.or.jp/support_activity/